

話し合ったテーマ 基礎自治体ごとに話し合いのテーマを事前に設定しました。

SDGs パートナーと市の協働による SDGs の普及促進

自治体名

前橋市

課題の構造図

テーマについて詳しい方や対象者へのヒアリング、自分自身の経験などから、チームのメンバーで課題を引き起こしている要因同士の複雑なつながりを紐解き、整理した図です。



フォーカスした問い

チームで話し合い、課題の構造図の中のどこにポイントを絞るといいのかを定め、誰の・どんな行動を・どう後押しするのか？を、「問い」のかたちにまとめました。

1

パートナーが何をしたらよいか分からない

SDGsにつながる取り組みを促進させたい行政が、SDGs パートナー同士で交流する場づくりをすることでSDGs パートナーと主体的にSDGsにつながる取り組みをするために、何が可能か？

2

普段の活動がSDGsにつながっていると気づいていない

SDGsに取り組む意欲がある事業者や個人が、SDGsにつながる取り組みを正しく理解することで、一歩踏み出すために、何が可能か？

3

SDGsを自分ごととして捉えられない

これからの未来をつくることもが、なぜSDGsが必要か学び、正しく理解することで、SDGsに高い関心を持ち、継続的に行動するために、何が可能か？

未来の種

問いに対して、どんなアクションを起こすとより良い未来につながるのか、チームで話し合った意見の中から、特に実現してみたい「未来の種」となるようなアイデアの一覧です。

SDGs 社会貢献アワード	1年ごとに、SDGsの目標達成状況の確認、表彰を行う。SDGsパートナー企業の担当者同士の交流を強化し、つながりづくりを行う。	赤城山から身近にSDGsを学ぶ	学校の課題活動に合わせて、赤城山を美しく残すために身近なアクションを共有し、行動の輪を広げる機会を作る。子供向けに17のゴールにもとづくウォークラリーを作ったり、清掃や保全活動を行う。
SDGsを身近に感じよう	市とパートナー企業で、SDGsに繋がる項目を見える化するプラットフォームを立ち上げる。特設サイトでは、17の目標行動のヒントや、チェックシートなどが確認でき、無料で誰でも利用できる。		